



世界ジオパークネットワーク（GGN）現地審査

報 告 書

（H21. 7. 17～7. 19）



洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会

世界ジオパークネットワーク現地審査 視察箇所図



平成 19 年 11 月 12 日、洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会ではジオパークの認定に向け具体的な取組を行っていくことを確認、平成 20 年 6 月 2 日、科学者、有識者による洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会を設置し調査研究、検討を重ね、7 月 18 日に日本ジオパーク委員会（J G C）に申請書を提出しました。10 月 20 日、第 3 回日本ジオパーク委員会が開催、世界ジオパークネットワーク（G G N）申請地域の選定が行われ、5 地域のうち洞爺湖有珠山ジオパークを含む 3 地域が G G N 国内候補地に決定されました。12 月 25 日には、G G N に申請書を提出、その後 G G N、J G C との協議・調整を経て、平成 21 年 7 月 17 ～ 19 日にわたり G G N による現地審査が 2 名の審査員により行われ、最終日の総括では「ジオサイトの保存のための努力をしている」「行政、民間の連携がしっかりしている」など、ジオパークとしての材料が整っているとの前向きな評価をいただいたところであります。

G G N 現地審査委員



Prof. Dato' Dr. Ibrahim Komoo
(イブラヒム・コモオ)
マレーシア国立ケバングサン大学教授
国立災害委員会議長
アジアパシフィックジオパークネットワークコーディネーター



Prof. Dr. Mohd Shafii Leman
(モハド・シャフィー・レーマン)
マレーシア国立ケバングサン大学教授
第 4 回ユネスコ世界ジオパーク会議議長

7 月 1 7 日（1 日目）

洞爺カルデラ、2000 年有珠山噴火の活動

8:40	9:10	洞爺湖ビジターセンター・火山科学館
9:10	9:40	歓迎式（洞爺湖ビジターセンター）
9:50	10:05	2000 年噴火遺構公園展望台
10:10	11:10	西山山麓散策路
11:30	12:30	昼 食 （ウィンザーホテル洞爺）
12:40	13:10	レイクヒルファーム
13:30	14:10	洞爺湖有珠山フットパス（金比羅山ルート）
14:40	16:30	有珠山 南外輪ー北外輪

■ 1 日目の様子



■ 説明者・同行者

洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会：岡田 弘委員長、露崎 史朗委員、廣瀬 亘委員

独立行政法人 産業総合技術研究所：渡辺 真人主任研究員

環境省北海道地方環境事務所洞爺湖自然保護官事務所：吉田 卓司自然保護官

北海道立地質研究所：黒河内 俊二副所長、田近 淳環境地質部長

通 訳：小川 裕司氏、加賀谷 千絵氏

特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構：伊藤 晋 主任研究員

地元自治体

壮瞥町：山中 漠町長（洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会会長）

木村 尚司エコ推進室長、高橋 俊也係長、三松 靖志主事、加賀谷 にれ主事

洞爺湖町：澤登 勝義企画防災課長、杉野 知之係長、佐々木 勉主任

■ 視察コメント

- ・火山科学館のビデオの裏には、多くの科学者の努力があること、それを多くの子ども達が見ていることは素晴らしい。
- ・溶岩ドームの上昇に伴う地殻変動で傾いたり段差ができたりした道路は価値がある。
- ・個人的な感想になるが、西山山麓散策路に非常に感銘を覚えた。一般の人へのわかりやすい教育というものがジオパークのひとつの課題であるが、そのことについてよくできていると思う。
- ・火口などに近づけるのは大きな魅力。たくさんの子どものグループ（修学旅行生）が見に来ていたのは非常に驚いた。世界のジオパークでおこなっていきいたいことだと思う。
- ・ここは被災地そのものを見ることができるので、火山学から説明をするより人々の興味を引き出しやすい。そこから興味を持たせて火山学へと発展させるということができる。
- ・地層などを見せるなら良いが、きれいな景色だけというならジオパークとしては足りない。
- ・解説板で火口ができる前の写真が見られるのは面白い。このようなもの（解説板）がジオパークに必要。

■ その他（質問・回答など）

○洞爺湖有珠山フットパス（金比羅ルート）で。

問 この辺りはガイド付きで回る場所か？（シャフィー）

答 一般の人が自由に入れます。（小川）

問 本当ですか？人の出入りなどコントロールができるのですか？（シャフィー）

－質問と言うより驚きのコメントだったようす。

○有くん火口で。

問 火口に貯まった水が漏れて危険では？(シャフィー)

答 今のところ問題が起きる可能性はないです。(岡田)

問 北側斜面の植生があるところから変わっているが。(イブラヒム)

答 クレーターからの距離で、被害の少ないところは離れているところだ。(岡田)

問 崩れている部分があるが(イブラヒム)

答 去年崩れた斜面だ。今年補修しブロックで補強している。(岡田)

○有珠山南外輪（銀沼火口を見下ろしたところ）で。

問 国立公園の境界は？(イブラヒム)

答 国立公園内の保護地域は 5 段階にレベル分けしています。

保護のみではなく温泉街があるような地域もあります。(吉田)

問 各レベルでどのような規制になっているのか？いつこのレベルが設定されたのか？(イブラヒム)

答 レベル分けは昭和初期に始まりました。(地図を指して) この部分は 2000 年に設定。5 年に一度見直しがあります。

問 このレベル分けは他の国立公園も同じか？(イブラヒム)

答 国内の国立公園で共通 (吉田)

7月18日（2日目）

昭和新山の生成、有珠山1977-78年の活動

8:40	9:15	1977 年火山遺構公園
9:30	11:00	有珠山ロープウェイ洞爺湖展望台・火口原展望台
11:15	11:50	三松正夫記念館
12:00	13:15	昼 食 （加賀谷仁左衛門邸）
13:30	14:30	洞爺湖ビジターセンター
14:40	15:10	金比羅火口災害遺構公園
15:30	16:00	浜田観光果樹園
16:10	18:00	そうべつ情報館 i

■ 2 日目の様子



■説明者・同行者

洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会：岡田 弘委員長、三松 三朗委員 廣瀬 亘委員

独立行政法人 産業総合技術研究所：佃 栄吉研究コーディネーター、渡辺 真人主任研究員

通 訳：小川 裕司氏、加賀谷 千絵氏

地元自治体

壮瞥町：山中 漠町長（洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会会長）

木村 尚司エコ推進室長、高橋 俊也係長、三松 靖志主事、加賀谷 にれ主事

■視察コメント

- ・（1977 火山遺構公園の解説看板を見て）解説看板が丁寧すぎる。一般の旅行者にも理解できる内容となっているか疑問。写真をメインとし、詳細な情報はホームページからダウンロードできるようにするなど別な方法で提供するのも一案である。
- ・サイトで解説板を読むのに時間がかかるとサイトそのものを良く見ないで終わってしまう。サイトを良く見るようにするべき。
- ・一般の人々にとって長い説明は情報量が多すぎる。知識がない人にはもっと少ない情報量にして写真（図も？）を活用し、足りない部分はパンフレットなどの読み物で解説するのが良い。さらに情報が欲しい人はそれを買って読めるようにすれば、それぞれの観光客のニーズに応えられる。人々のニーズに合ったサービスが必要。
- ・ジオパークといっても地質だけがメインではない。動植物といった自然、歴史、考古学、地域の伝説・神話それに加え、人に関して、人とのかわりなども同じく重要。昼食に招待してくれた加賀谷さんのような生物の専門家も重要な役割を果たせる。
- ・（浜田観光果樹園にて）ドイツではジオパークの認証を受けたブドウで作ったワインが、2、3 割高くても売り上げを伸ばしている。その際には良いものであることを証明するために土の科学的分析など必要ではあるが。

■その他（質問・回答など）

○ロープウェイ乗車後有珠山頂で。

問 地元のガイドは何人か。（イブラヒム）

答 いろいろなグループを合わせて 100 名くらい。（小川）

→ 4 年後に再審査があったときに、この数字なり内容なりが改善されていれば、ジオパークであることによって改善した成果として捉えることが出来る。逆を言えば、ジオパークで継続するためにはこのような改善項目が必要になる。

問 ジオパークが与える影響は何か。（イブラヒム）

答 多くの人に火山の影響を見てほしいのでジオパークに認定されることで更に人々に知られる。最近シンガポール人が増えているが、英語ガイドが足りないので増やしたい。（ワカサリゾート）

7月19日（最終日）

先人の歴史（アイヌ文化・縄文文化）

10:10	10:30	豊浦町文学碑公園、カムイチャシ史蹟公園
11:00	12:00	有珠善光寺、アルトリ岬
12:15	13:00	昼 食 （ローヤルホテル）
13:15	14:00	だて歴史の杜 黎明館
14:20	15:30	北黄金貝塚公園
15:45	17:30	総 括 （伊達消防防災センター）
18:10	19:30	フェアウェルパーティー （ホテルサンパレス）

■ 3 日目の様子



■ 説明者・同行者

洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会：岡田 弘委員長、大島 直行委員、廣瀬 亘委員

独立行政法人 産業総合技術研究所：佃 栄吉研究コーディネーター、渡辺 真人主任研究員

通 訳：小川 裕司氏、仲野 千穂氏、加賀谷 千絵氏

特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構：本田 康隆 首席研究員

地元自治体

壮瞥町：山中 漠町長（洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会会長）

田鍋 敏也総務課長、木村 尚司エコ推進室長、高橋 俊也係長、加賀谷 にれ主事

豊浦町：荒 康夫副町長、多田 正司総務課長、藤原 弘樹企画調整係長

伊達市：佐藤 之宣企画課長、阿部 正義自治防災課長、松山 和憲企画調整係長

■ 視察コメント

- ・（文学碑公園で）ジオパークは人々にストーリーを語る必要がある。ここはきれいな景色だがジオパークとしてこの海岸をどう人々にアプローチするかが大切。

→土地の人々は景色を楽しんだり、海で泳いだりして楽しんでいます。昔アイヌの人たちも豊富な魚貝をとって生活しており、貝塚があります。アイヌの人たちは海底火山の恵みを受け、共存していました。（岡田）

- ・アイヌの人の生活は土地に合わせて生きていた。それは今も同じで昔も今も人々は頑張っている、と言うことをうまく表現できると良い。
- ・（北黄金貝塚公園で）ここは実物を見られるサイトで、良い点は、見て分かりやすいところ。悪い点は、再現されているものを本物だと思ってしまう可能性があるところ。再現するのに不確かなものは再現せず、そういうものは口頭や文書で伝えたほうが良い。本物を教えることが大切。また考古学サイトは保存がとても重要であり、事実を伝えることも重要。保存・保護の大切さを学ぶ場にするためにレプリカでなく本物を見せることが大事。1%でも5%でも出来る範囲で教育のために少しでも本物を見せてほしい。
- ・北黄金貝塚公園はとても重要なサイト。メインのサイトになれる。

■その他（質問・回答など）

○文学碑公園、カムイチャシ史蹟公園で。

問 この場所は名前が付けられていますか？（イブラヒム）

答 札文華です。アイヌ語です。（大島）

問 先住民の言葉ですか？

答 はい。（大島）

○だて歴史の杜黎明館 藍染工房で。

問 藍染にまつわる伝説などがあるか？（シャフィ）

答 ないです。（藍染工房）

問 藍染の特徴は何か？（シャフィ）

答 深みのある青が特徴です。また、虫が付きにくい特徴があり、戦国時代に武士が着るなどしていました。（藍染工房）

問 なぜ藍色（にこだわるの）か？（シャフィ）

答 葛飾北斎という昔の画家がよく用い、海外でも「Japanese Blue」と呼ばれるなど日本の伝統的な色です。（大島）

○北黄金貝塚公園で。

問 元の環境と同じように木を植えては？（シャフィ）

答 その通りで、今植林をしている。（大島）

問 再現した貝塚の貝はもともとあった貝と同じ種類か？（シャフィ）

答 そうです。（大島）

■総括コメント

Prof. Dato' Dr. Ibrahim Komoo (イブラヒム・コモオ教授)

- ・地域の教育的な見せ方に感銘した。また、見せる物の豊かさに驚いている。
- ・有珠山・洞爺湖はG G Nにはふさわしい。(個人的意見と強調しながら)
(時間枠の中で変わってゆくのが、世界的にもユニークである。)
- ・ジオサイトとして、昭和新山、有珠山、洞爺湖など保存のための取組を昔から行っている。国や町、個人など何層もの保存組織があることが、ポイントとして高い。(エリアの大部分が国立公園区域内であること。2000年噴火遺構の保存が地元・行政の協力のもとや昭和新山の個人所有での保存など)
- ・ジオサイト(科学・地学・生物・植物・文化)をお互いにコンビネーションで表現、見せていく必要がある。
- ・ジオツーリズムが重要(地球の歴史、地質変化に基づいた旅行)、この地域は火山、防災について学ぶ形ができている。ただし、エコツーリズム、ネイチャーツーリズムもジオの概念なのでこの分野も発展すべき。
- ・人びとの知識欲に対する仕組みをつくる必要がある。ガイドについてや入場数について聞いたのはそのため。
- ・1市3町の組織体制に感銘を受けた。行政の連携と民間の横の体制はきわめて優秀である。今までのエコ構想が大きな貢献をしている。
- ・地元の人たちがどの様にジオパークを活用していくのか、参加していくのが大切である。今回直接知ることではできなかったが、この地域のみなさんは地元を愛していると思う。
※地元の誇りを世界に見せてゆく準備を進めてほしい。

Prof. Dr. Mohd Shafii Leman (モハド・シャフィー・レーマン教授)

- ・現地の皆さんが今回の審査に向けた準備に取り組んでいる姿が良く見えた。
- ・改善点などについて
 - ①遊歩道などの名称を「ジオパークトレイル」にするなどジオパークをPRしては
 - ②考古学から農業や漁業に絡めて紹介してはどうか
 - ③看板について：観光的なものや安全・環境への取組紹介など
 - ④簡単なリーフレット作成(知りたいことと、知らせたいことの整理)
- ・ジオサイトについて、いくつかの区分があったが、国立公園(一般向け、学校・研究者向け)内で遊歩道利用(区分わけ)をしてはどうか。
- ・ジオパークの案内について、現地の意見を聞いていないが、案内人が非常に大切である。看板を見るよりも、案内人のクオリティー(資質)を高めることが大切。

歓迎式出席者(7.17)

渡辺 真人 独立行政法人産業技術総合研究所主任研究員
上西 隆広 北海道開発局室蘭開発建設部長
吉田 卓司 環境省北海道地方環境環境事務所洞爺湖自然保護官
高原 陽二 北海道副知事
中岡 正憲 北海道胆振支庁長
大澤 秀樹 北海道室蘭土木現業所管理部長
黒河内 俊二 北海道立地質研究所副所長
田近 淳 “ 地域地質部長
廣瀬 亘 “ 研究職員（洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会）
岡田 弘 北海道大学名誉教授（洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会）
露崎 史朗 北海道大学准教授（洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会）
山中 漠 壮瞥町長（洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会会長）
大坪 鐵雄 伊達市副市長
荒 康夫 豊浦町副町長
吉田 茂 洞爺湖町副町長
小川 裕司 洞爺ガイドセンター代表（通訳）



総括（伊達市消防防災センター）出席者(7.19)

佃 栄吉 独立行政法人産業技術総合研究所研究コーディネーター
渡辺 真人 独立行政法人産業技術総合研究所主任研究員
岡田 弘 北海道大学名誉教授（洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会）
大島 直行 伊達市噴火湾文化研究所長（洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会）
廣瀬 亘 北海道立地質研究所 研究職員（洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会）
山中 漠 壮瞥町長（洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会会長）
長崎 良夫 洞爺湖町長（ “ 副会長）
大坪 鐵雄 伊達市副市長
荒 康夫 豊浦町副町長
小川 裕司 洞爺ガイドセンター代表（通訳）
仲野 千穂 氏（通訳）



フェアウェルパーティー出席者(7.19)

佃 栄吉 独立行政法人産業技術総合研究所研究コーディネーター
渡辺 真人 独立行政法人産業技術総合研究所主任研究員
藤本 和徳 北海道立地質研究所所長
田近 淳 “ 地域地質部長
岡田 弘 北海道大学名誉教授（洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会）
三松 三朗 三松正夫記念館長（洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会）
大島 直行 伊達市噴火湾文化研究所長（洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会）
廣瀬 亘 北海道立地質研究所研究職員（洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会）
若狭 洋一 社団法人洞爺湖温泉観光協会会長
山中 漠 壮瞥町長（洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会会長）
長崎 良夫 洞爺湖町長（ “ 副会長）
菊谷 秀吉 伊達市長
荒 康夫 豊浦町副町長
佐藤 恣 氏 洞爺湖有珠火山マイスター
本田 康隆 環境防災総合政策研究機構 首席研究員
小川 裕司 洞爺ガイドセンター代表（通訳）
仲野 千穂 氏（通訳）
加賀谷 千絵 氏（通訳）
佐藤 之宣 伊達市企画課長
澤登 勝義 洞爺湖町企画防災課長
藤原 弘樹 豊浦町企画調整係長
田鍋 敏也 壮瞥町総務課長
木村 尚司 壮瞥町総務課参事（エコミュージアム推進室長）
高橋 俊也 壮瞥町総務課エコミュージアム推進室係長
加賀谷 にれ 壮瞥町総務課主事

